

第2章

アンケート結果概要

目次

I アンケート間の比較結果	2-3
1 定住意向	2-3
2 住み心地の理由	2-5
3 まちの特徴・イメージ	2-7
4 まちの未来	2-9
5 まちづくりのキーワード	2-10
6 今後の取組で重要なこと	2-11
II 各アンケートでの主な結果	2-14
1 住民アンケート	2-14
2 経営者アンケート・はたらく人アンケート	2-17
3 窓口アンケート	2-18

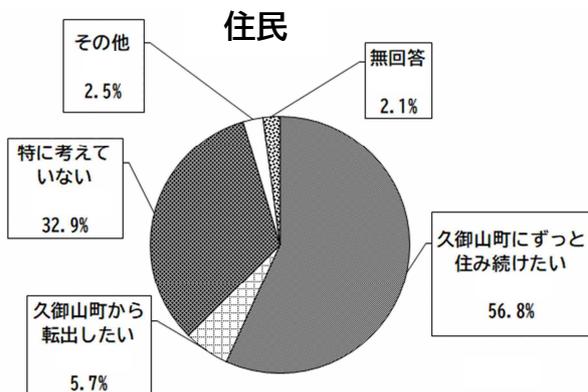
I アンケート間の比較結果

まちづくりを考えるうえで、特にキーワードとなる項目については、複数のアンケートで確認しました。それらの項目について横断的に整理し、それぞれの結果を比較しました。

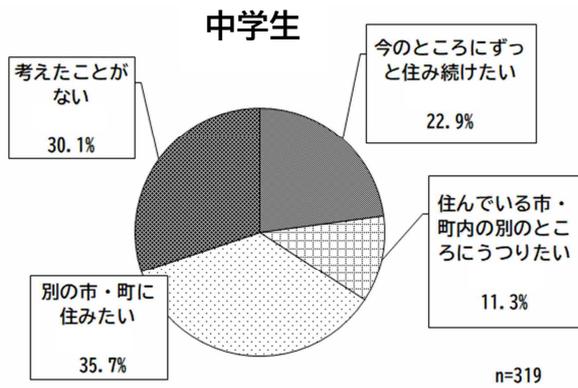
		各アンケート						
		住民	転入者	転出者	中学生	高校生	経営者	はたらく人
アンケート項目	1 定住意向	●			●	●	●	●
	2 住み心地の理由	●			●	●		
	3 まちのイメージ	●		●	●	●	●	●
	4 まちの未来	●			●	●		
	5 まちづくりのキーワード				●	●		
	6 今後の取組で重要なこと	●	●				●	●

1 定住意向

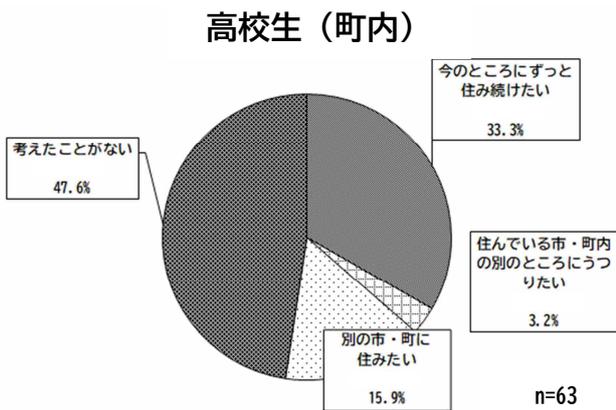
- 対象アンケート：住民(問8)・中学生(問3)・高校生(問4)・経営者(問11)・はたらく人(問10)
- 回答方式：住民・経営者・はたらく人(選択式)、中学生・高校生(住み心地を選択後、理由を自由記述)
- 結果比較：住民では、「久御山町にずっと住み続けたい」との回答が最も多くありました。一方で、中学生は、「別の市・町に住みたい」が多く、経営者・はたらく人は、「住みたいと思わない」との回答が多く、高校生(町内)では「考えたことがない」との回答が多くありました。



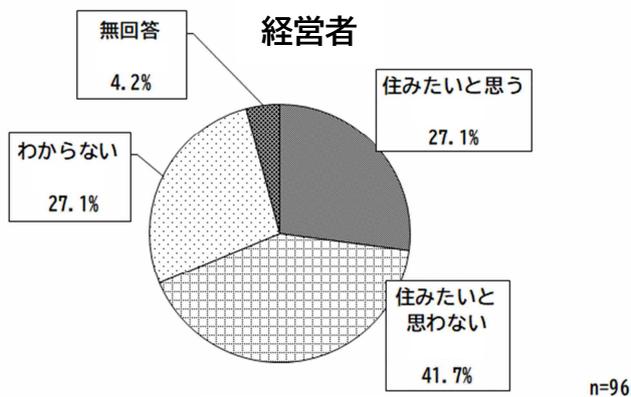
- 「久御山町にずっと住み続けたい」の回答が56.8%と最も多く、次いで、「特に考えていない」が32.9%、「久御山町から転出したい」が5.7%となりました。
- 前回アンケートと比較すると、「久御山町にずっと住み続けたい」が約11%減少し、「特に考えていない」が約12%増加しています。
- 住み続けたい理由として、「住環境がよい」、「医療や福祉サービスや拠点が充実」、「買い物が便利」が上位を占めています。



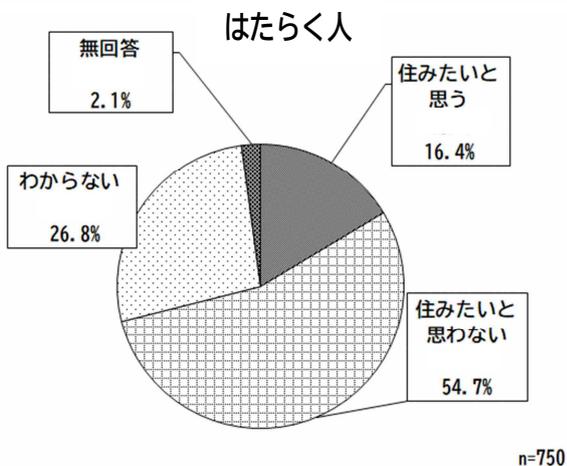
- ・ 「別の市・町に住みたい」の回答が35.7%となり、最も多く、次いで、「考えたことがない」が30.1%となりました。
- ・ 前回アンケートと比較すると、「別の市・町に住みたい」が約20%増加しています。理由として、「大きいお店が少ないから」や「近くに電車がないから」の理由がある一方、「他の地域を知りたい」、「違う街の良いところを見つけたい」、「いろいろな経験をしたい」などの意見が多くありました。



- ・ 町内在住の高校生では、「考えたことがない」が47.6%で最も多く、次いで、「今のところずっと住み続けたい」が33.3%となりました。



- ・ 「住みたいと思わない」の回答が41.7%と最も多い結果となりました。
- ・ なお、居住するにあたり重視することは、「公共交通機関の充実」の回答が73.1%となり、最も多く、次いで「質の良い住宅や宅地を増やすための施策」が38.5%、「豊かな自然の保全や緑の整備」が30.8%となりました。



- ・ 「住みたいと思わない」の回答が54.7%と最も多い結果となりました。
- ・ なお、居住するにあたり重視することは、「公共交通機関の充実」が57.7%と最も多く、次いで「若者や子育て世代の働く環境づくりへの支援」が45.5%、「質の良い住宅や宅地を増やすための施策」と「渋滞解消」がともに27.6%となっています。

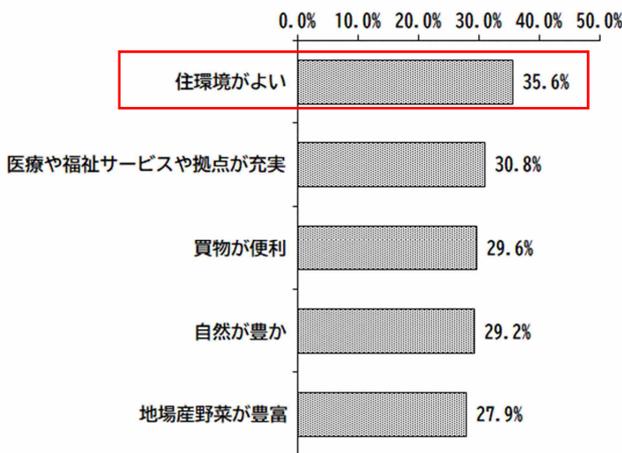
2 住み心地の理由

➤ 住みやすいところ

- ・ 対象アンケート：住民(問9)・中学生(問2)・高校生(問3)
- ・ 回答方式：住民(選択式)、中学生・高校生(住み心地を選択後、理由を自由記述)
- ・ 結果比較：住民の多くが住環境の良さ、中高生の多くが居住性をあげています。中高生は、「改善してほしいところはあるが良いまちだと思う」の理由として、遊び場や交通に対する不便についての理由も多くあげています。

住民

「住みやすいところ」上位5位



- ・ 住みやすいところ(住み続けたい理由)を聞いたところ、「住環境がよい」が35.6%と最も高く、次いで「医療や福祉サービスや拠点が充実」が30.8%、「買物が便利」が29.6%を占めています。
- ・ 校区别では、御牧校区では「地場産業が豊富」が35.2%と他の校区よりもより高くなっており、佐山校区では「医療や福祉サービスの拠点が充実」が33.3%と他の校区よりもより高くなっています。また、東角校区では、「住環境がよい」及び「買い物便利」がそれぞれ約4割と他の校区より高くなっています。

中学生

「とても住みやすいまちだと思う」上位5位

分類	件数
特に不満はない	30
居住性	17
人材	15
良い街	14
特にない	9
民間施設・店舗	9
生活環境	9

- ・ 「とても住みやすいまちだと思う」の回答が52.7%となり、最も多く、次いで、「改善してほしいところはあるが、良いまちだと思う」が37.9%となりました。
- ・ 「とても住みやすいまちだと思う」理由として、「改善してほしいところがない」「楽しい」などの類似意見が30件あり、最も多く、次いで「過ごしやすい」「住み心地がよい」など、「居住性」に関連する意見が17件、「みんな優しい」「近所づきあいが良い」など「人材」に関連する意見が15件ありました。

「改善してほしいところはあるが、良いまちだと思う」上位5位

分類	件数
遊ぶ場所	34
交通面	12
その他	11
安全安心	11
民間施設・店舗	9

- ・ 「改善してほしいところがあるが、良いまちだと思う」理由として、「遊び場が少ない」などの類似意見が34件あり、最も多く、次いで「駅がない」「バス停があまりない」など、「交通面」に関連する意見が12件、「治安が悪い」「街灯がなく暗い」など「安全安心」に関連する意見が11件ありました。

高校生

「とても住みやすいまちだと思う」上位5位

分類	件数
民間施設・店舗	35
居住性	23
良い街	19
特に困ることはない	18
人材	11

- ・ 「改善してほしいところはあるが、良いまちだと思う」の回答が39.9%となり、最も多く、次いで、「とても住みやすいまちだと思う」が31.9%となりました。
- ・ 「とても住みやすいまちだと思う」と回答した人は、「イオンが近くにある」、「店が多い」など、「民間施設・店舗」に関連する意見が35件あり、最も多く、次いで「環境が良い」、「落ち着いた」など、「居住性」に関連する意見が23件ありました。

「改善してほしいところはあるが、良いまちだと思う」上位5位

分類	件数
交通面	85
道路整備	27
遊ぶ場所	16
安全安心	16
その他	13
民間施設・店舗	13

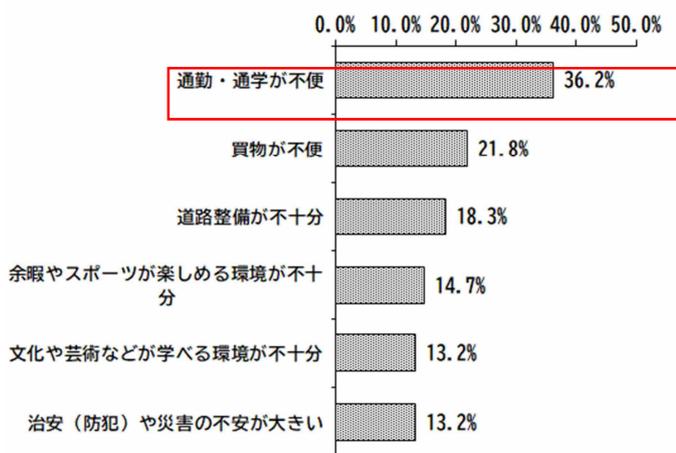
- ・ 「改善してほしいところはあるが、良いまちだと思う」と回答した人は、「駅が遠い」、「交通量が多く危険」など、「交通面」に関連する意見が85件あり、最も多く、次いで「道路の凸凹」、「草木が伸びており歩道の環境が悪い」など、「道路整備」に関連する意見が27件ありました。

➤ 住みにくいところ

- ・ 対象アンケート：住民(問9)・中学生(問2)・高校生(問3)
- ・ 回答方式：住民(選択式)、中学生・高校生(住み心地を選択後、理由を自由記述)
- ・ 結果比較： 住民・高校生の多くが住みにくさの理由について通勤・通学が不便といった交通面をあげています。中学生は「住み心地はあまり良くないまち」との回答が全体の3%程度でした。

住民

「住みにくいところ」上位5位



- ・ 住みにくいところ(転出したいと思う理由)を聞いたところ、「通勤・通学が不便」が36.2%と最も高く、次いで「買物が不便」が21.8%、「道路整備が不十分」が18.3%を占めています。
- ・ 年齢別では、18~29歳では、「通勤・通学が不便」が72.3%と他の年齢階層より高くなっています。
- ・ 校区別では、御牧校区では「通勤・通学が不便」が53.3%と他の校区よりもより高くなっています。

中学生

- ・ 全体として、「住み心地はあまり良くないまちだと思う」の回答はほとんどありませんでしたが、「遊ぶ場所が少ない」、「交通の不便さ」や「安心安全」に関連する意見が複数ありました。

高校生

「住み心地はあまり良くないまちだと思う」

上位5位

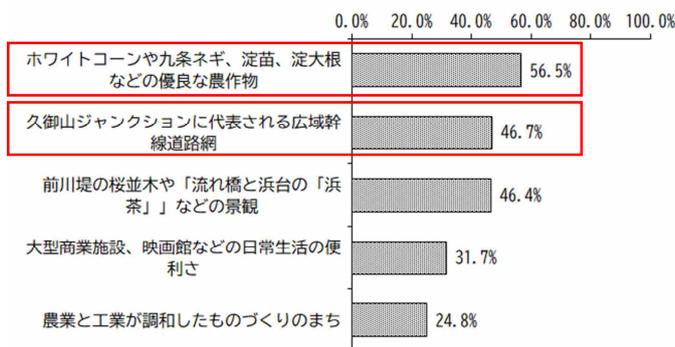
分類	件数
交通面	16
生活環境	7
安全安心	6
その他	5
遊ぶ場所	4

- ・ 「バスの本数が少ない」、「駅が遠い」など、「交通面」に関連する意見が16件あり、最も多く、次いで「工場の臭い」など、「生活環境」に関連する意見が7件、「治安が悪い」など、「安全安心」に関連する意見が6件ありました。

3 まちの特徴・イメージ

- ・ 対象アンケート：住民(問10)・転出者(問6)・中学生(問5)・高校生(問6)・経営者(問14)
・ はたらく人(問13)
- ・ 回答方式：住民・転出者・経営者・はたらく人(選択式)、中学生・高校生(自由記述)
- ・ 結果比較：住民・中高生は九条ネギ等農作物についてのイメージが最も多い回答となりました。一方で、転出者・経営者・はたらく人は、交通についてのイメージの回答が多くありました。高校生のイメージとして、イオンモール久御山が最も多くありました。

住民 上位5位



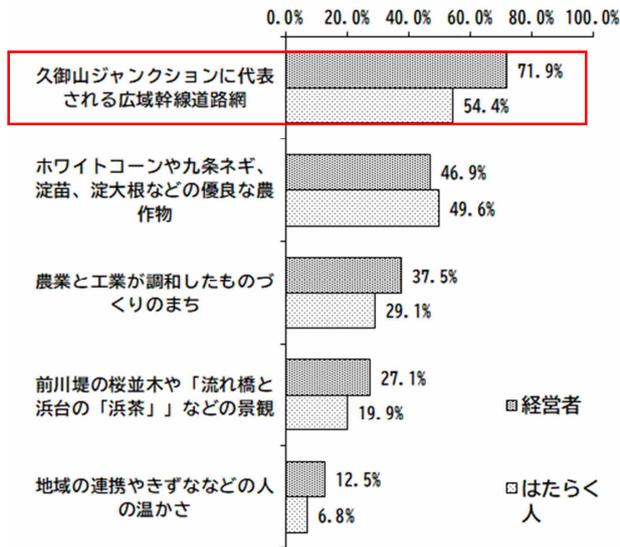
- ・ 「ホワイトコーンや九条ネギ、淀苗、淀大根などの優良な農作物」の回答が56.5%と最も多くなりました。
- ・ 年齢別では、18～59歳までは「ホワイトコーンや九条ネギ、淀苗、淀大根などの優良な農作物」の回答が最も多くありましたが、70歳以上は「前川堤の桜並木や「流れ橋と浜台の「浜茶」」などの景観」が最も多くありました。

中学生・高校生

No.	分類	中学生 (件)	高校生 (件)
1	九条ネギ	114	117
2	京野菜	40	24
3	くみやま夢タワー137	38	22
4	その他	31	53
5	ネギーマン	28	11
6	ホワイトコーン	20	18
7	イオンモール久御山	16	146

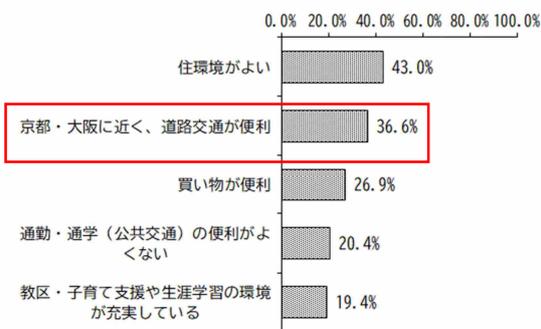
- ・ 中学生では、「九条ネギ」に関連する回答が114件あり、最も多く、次いで「京野菜」に関連する回答が40件ありました。
- ・ 高校生では、「イオンモール久御山」に関連する回答が146件あり、最も多く、次いで「九条ネギ」に関連する回答が117件ありました。

経営者・はたらく人 上位5位



- 経営者・はたらく人ともに、「久御山ジャンクションに代表される広域幹線道路網」の回答が最も多く、次いで「ホワイトコーンや九条ネギ、淀苗、淀大根などの優良な農作物」、「農業と工業が調和したものづくりのまち」となりました。

転出者 上位5位

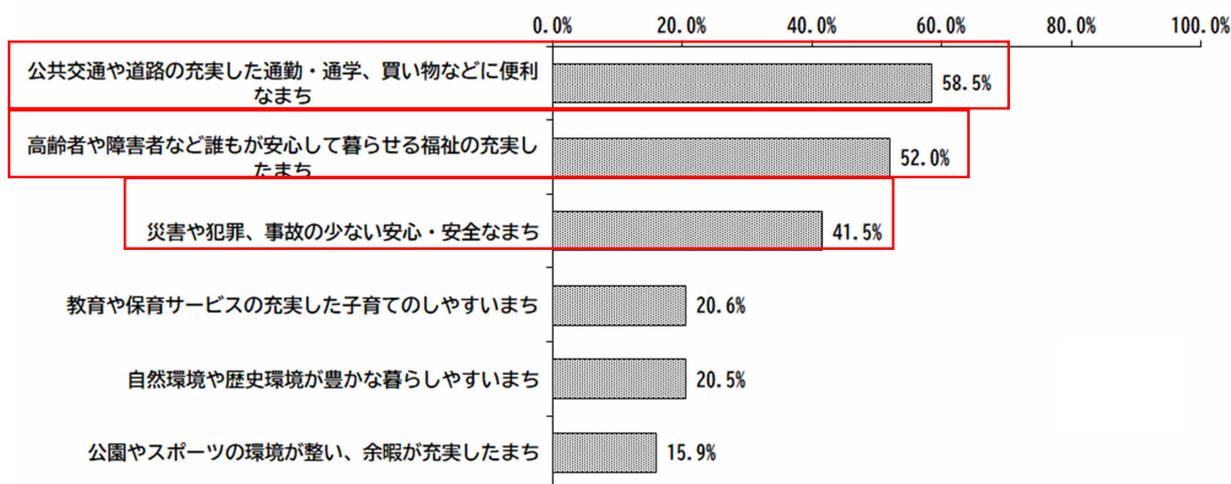


- 「住環境がよい」の回答が43.0%と、最も多く、次いで、「京都・大阪に近く、道路交通が便利」が36.6%となりました。

4 まちの未来

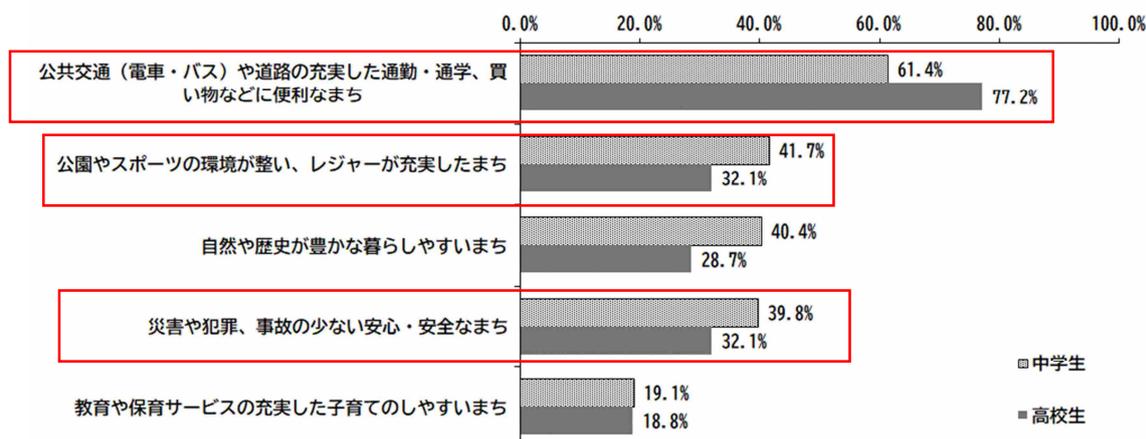
- ・ 対象アンケート：住民(問13)・中学生(問5)・高校生(問8)
- ・ 回答方式：住民・中学生・高校生(選択式)
- ・ 結果比較：「公共交通(電車・バス)や道路の充実した通勤・通学、買い物などに便利なまち」が最も多い回答となり、「災害や犯罪、事故の少ない安心・安全なまち」の回答も上位となっています。また、中高生はレジャーや自然が上位にあるのに対し、住民は福祉や教育が上位にあります。

住民 上位



- ・ 「公共交通(電車・バス)や道路の充実した通勤・通学、買い物などに便利なまち」の回答が58.5%と最も多く、次いで、「高齢者や障害者など誰もが安心して暮らせる福祉の充実したまち」が52.0%、「災害や犯罪、事故の少ない安心・安全なまち」が41.5%となりました。
- ・ 前回アンケートと比較すると、「公共交通や道路の充実した通勤・通学、買い物などに便利なまち」が約8%、「公園やスポーツの環境が整い、余暇が充実したまち」が約4%増加しています。
- ・ 年齢別では、18～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳及び60～69歳では、「公共交通や道路の充実した通勤・通学、買い物などに便利なまち」が最も高い割合となっており、70～79歳及び80歳以上では、「高齢者や障害者など誰もが安心して暮らせる福祉の充実したまち」となっています。
- ・ 校区別では、東角校区が「高齢者や障害者など誰もが安心して暮らせる福祉の充実したまち」が59.9%と他の校区よりもより高くなっています。

中学生・高校生 上位



【中学生】

- ・ 「公共交通（電車・バス）や道路の充実した通勤・通学、買い物などに便利なまち」の回答が61.4%と、最も多く、次いで、「公園やスポーツの環境が整い、レジャーが充実したまち」が41.7%、「自然や歴史が豊かな暮らしやすいまち」が40.4%となりました。
- ・ 前回アンケートと比較すると、「公共交通（電車・バス）や道路の充実した通勤・通学、買い物などに便利なまち」が約10%増加し、「災害や犯罪、事故の少ない安心・安全なまち」、「高齢者や障害者など誰もが安心して暮らせる福祉の充実したまち」は10%以上減少しました。

【高校生】

- ・ 「公共交通（電車・バス）や道路の充実した通勤・通学、買い物などに便利なまち」の回答が77.2%と、最も多く、次いで、「公園やスポーツの環境が整い、レジャーが充実したまち」、「災害や犯罪、事故の少ない安心・安全なまち」がそれぞれ32.1%となりました。
- ・ 前回アンケートと比較すると、「公共交通（電車・バス）や道路の充実した通勤・通学、買い物などに便利なまち」が約10%増加し、10%以上減少している項目は「公園やスポーツの環境が整い、レジャーが充実したまち」、「地域のコミュニティ活動が活発なふれあいのまち」となりました。

5 まちづくりのキーワード

- ・ 対象アンケート：中学生(問6)・高校生(問7)
- ・ 回答方式：中学生・高校生（選択式）
- ・ 結果比較：「明るい」「元気」「にぎわい」「安全」をまちづくりのキーワードとしてあげています。

中学生・高校生

「まちづくりのキーワード」上位5位

中学生

順位	選択肢	件数
1	明るい	151
2	元気	118
3	にぎわい	97
3	安全	97
5	夢	93

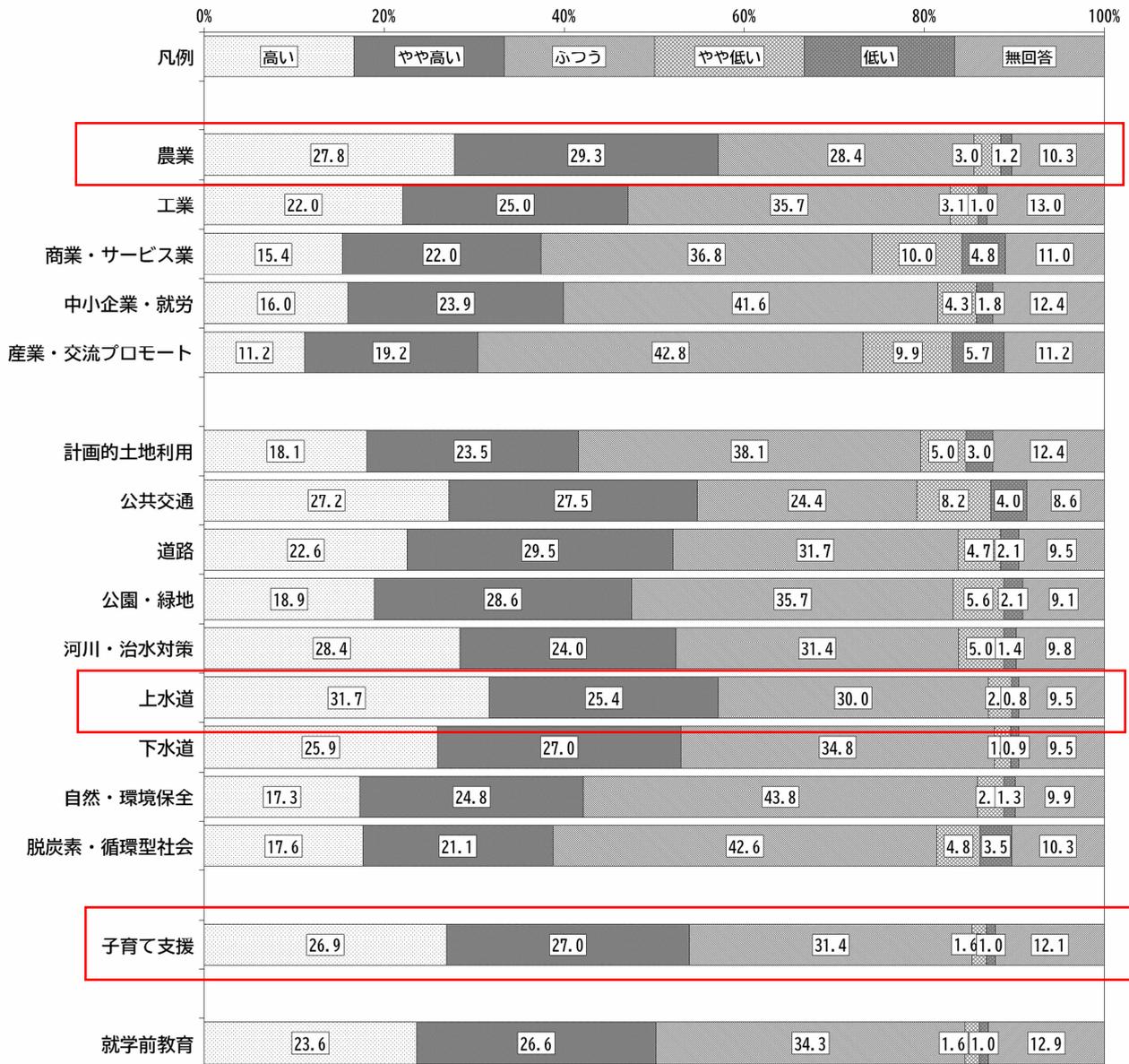
高校生

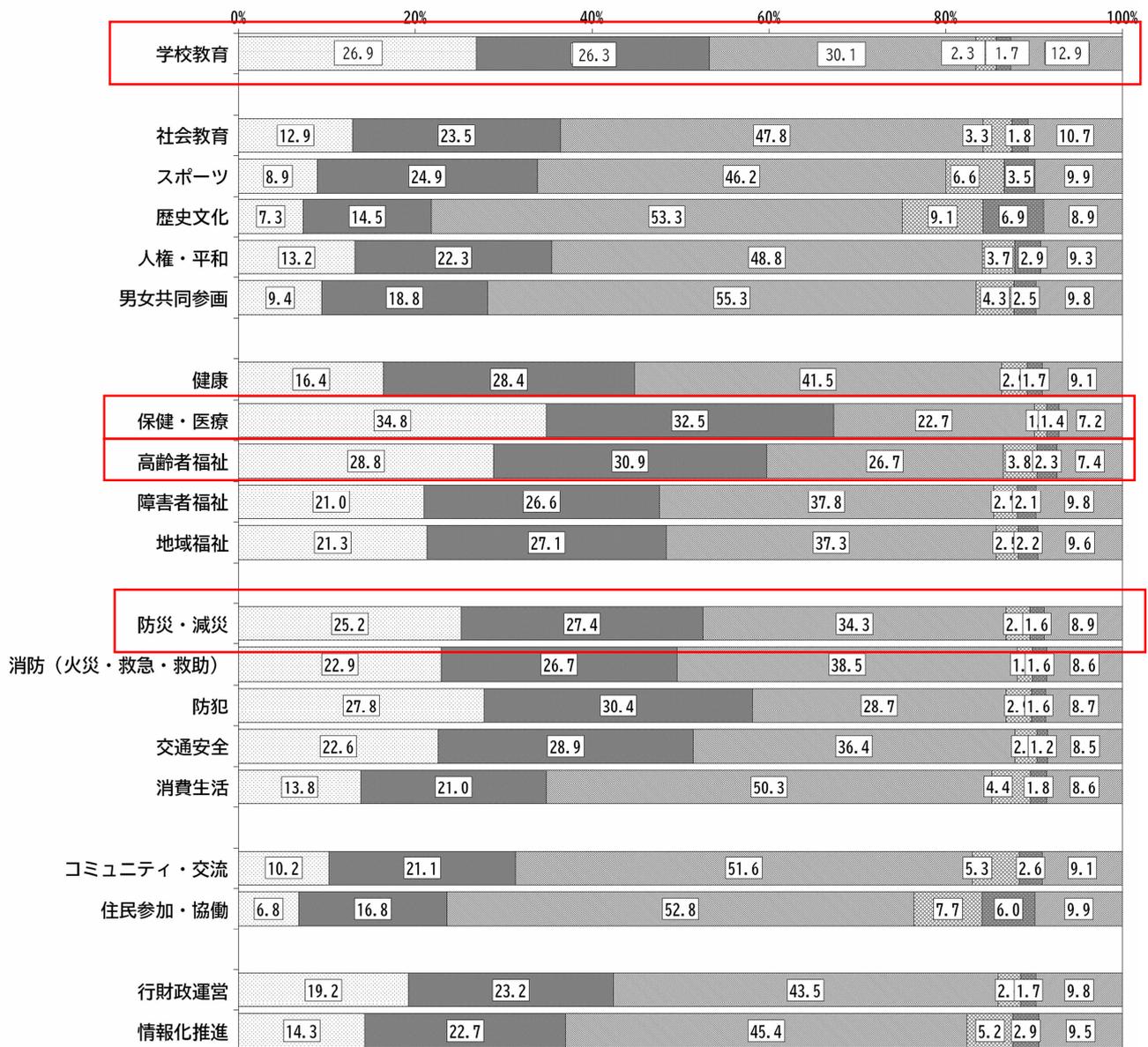
順位	選択肢	件数
1	明るい	243
2	にぎわい	194
3	元気	184
4	安全	178
5	安心	151

6 今後の取組で重要なこと

- 対象アンケート：住民(問11)・転入者(問5)・経営者(問8)・はたらく人(問9)
- 回答方式：住民・転入者・経営者・はたらく人(選択式)
- 結果比較：住民は、「保険・医療」、転入者は「住環境の整備」、経営者・はたらく人は、「公共交通機関の充実」が最も多い回答となっています。

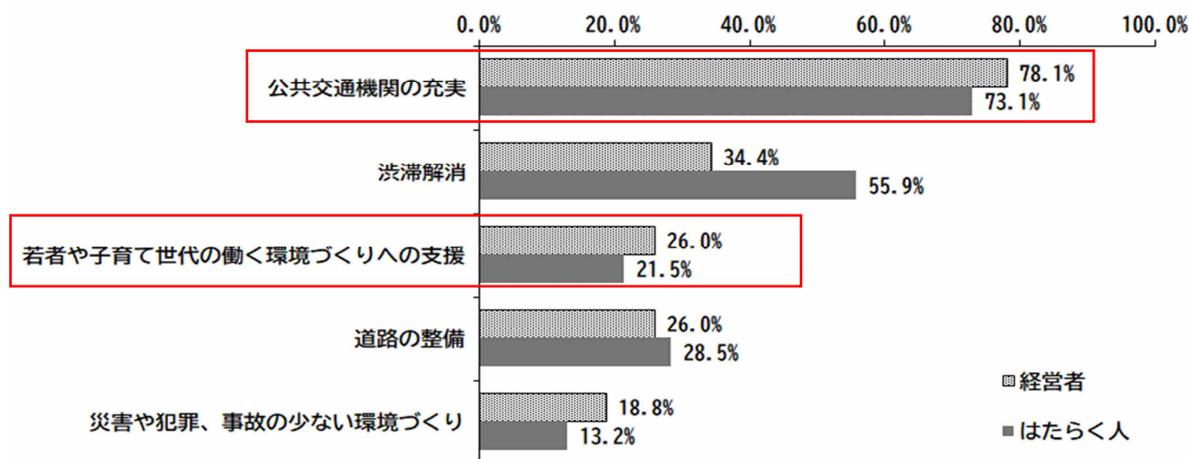
住民
まちの取組の重要度





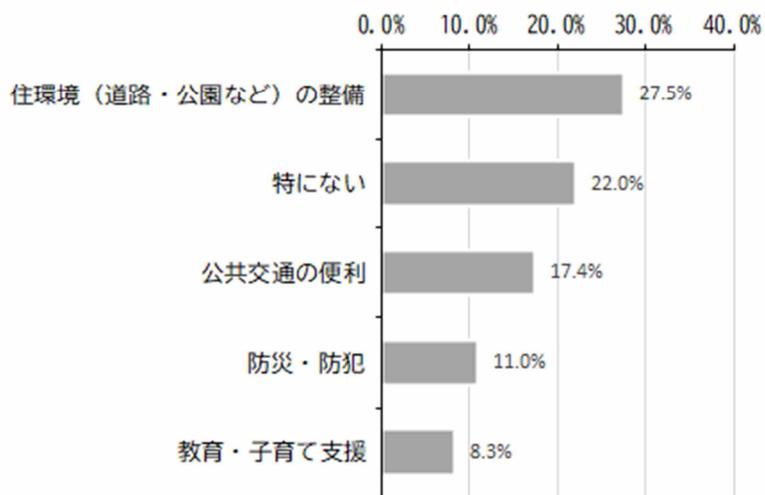
- ・ 「「保険・医療」については、「高い」・「やや高い」がそれぞれ34.8%、32.5%あり、全項目の中で一番重要度が高いと考えている住民が多い結果となっています。
- ・ 「農業」、「公共交通」、「道路」、「河川・治水対策」、「上水道」、「下水道」、「子育て支援」、「就学前教育」、「学校教育」、「高齢者福祉」、「防災・減災」、「防犯」及び「交通安全」については、「高い」・「やや高い」の合計がそれぞれ50%を超えており、他の項目と比べて重要度が高いと考える住民が多いと考えられます。

経営者・はたらく人
働きやすいまちになるために注力すべきもの 上位5位



- ・ 経営者、はたらく人ともに「公共交通機関の充実」の回答が最も多く、次いで「渋滞解消」、「若者や子育て世代の働く環境づくりへの支援」、「道路の整備」が上位の結果となりました。

転入者
まちに期待するサービス 上位5位



- ・ まちに期待するサービスとして、「住環境（道路・公園など）の整備」の回答が27.5%と、最も多く、次いで、「特にない」が22.0%、「公共交通の便利」が17.4%となりました。

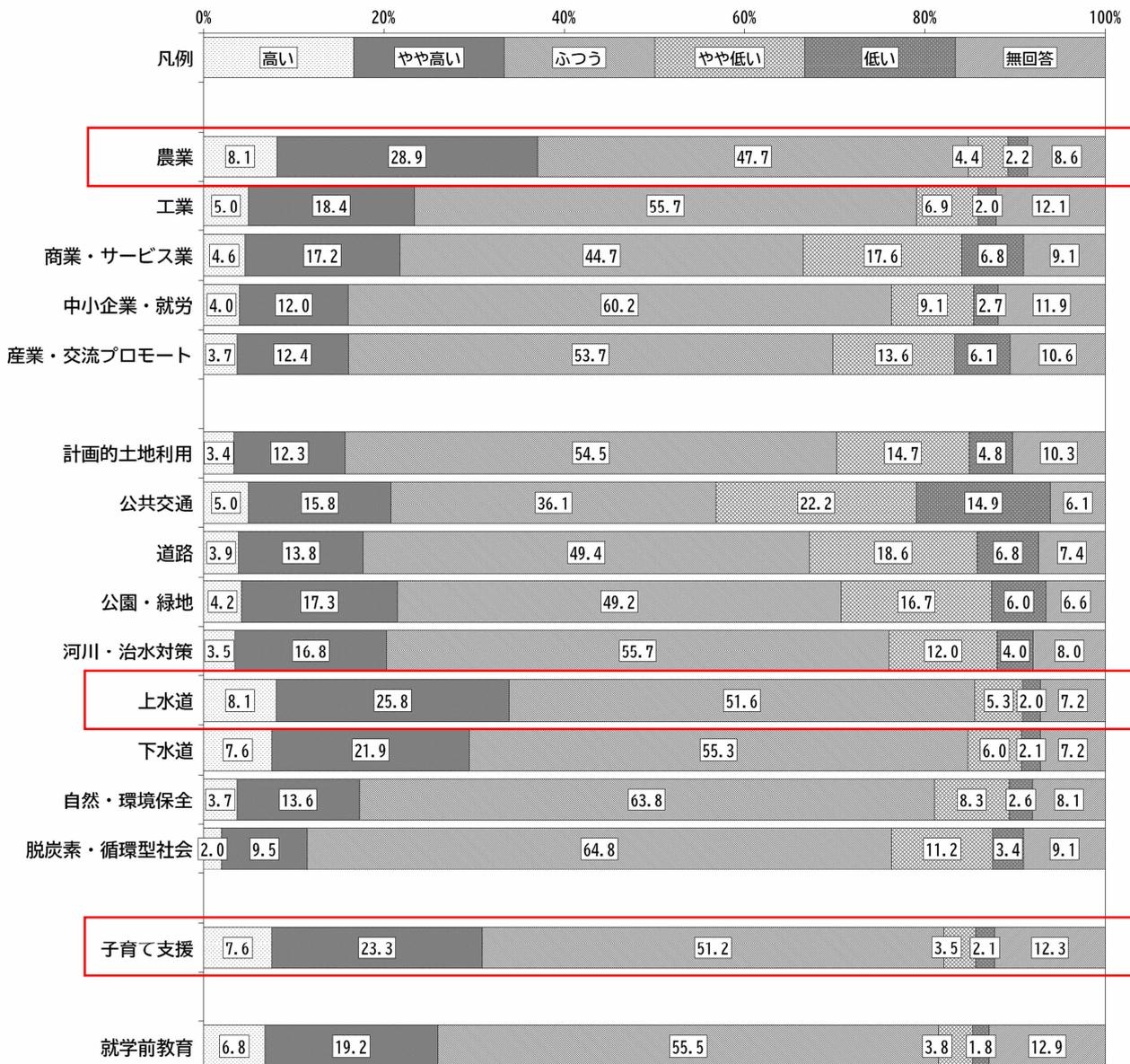
Ⅱ 各アンケートでの主な結果

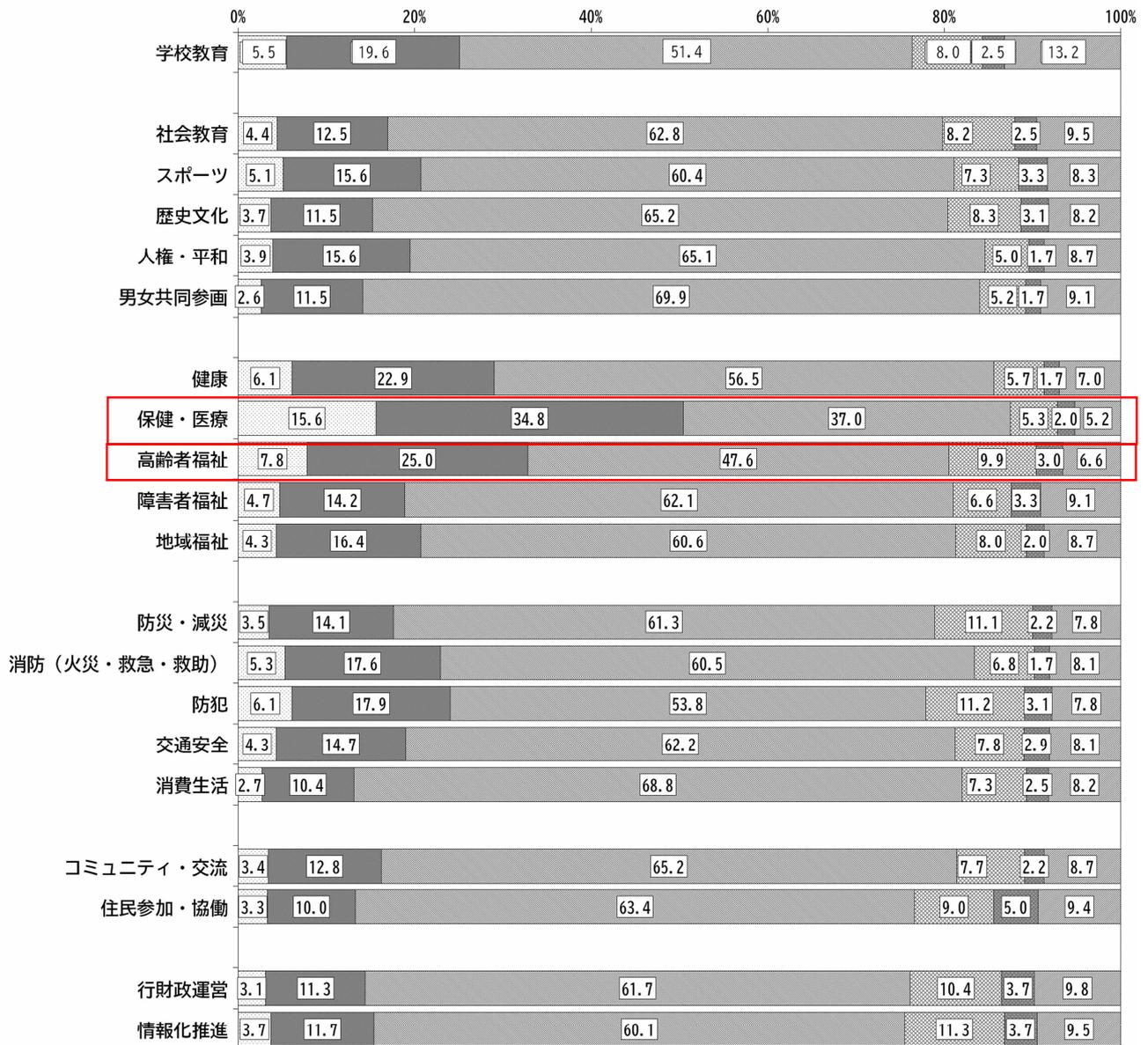
「Ⅰ アンケート間の比較結果」以外の項目で各アンケートでの主な結果は次のとおりです。

1 住民アンケート

① まちづくりの満足度(問 11)

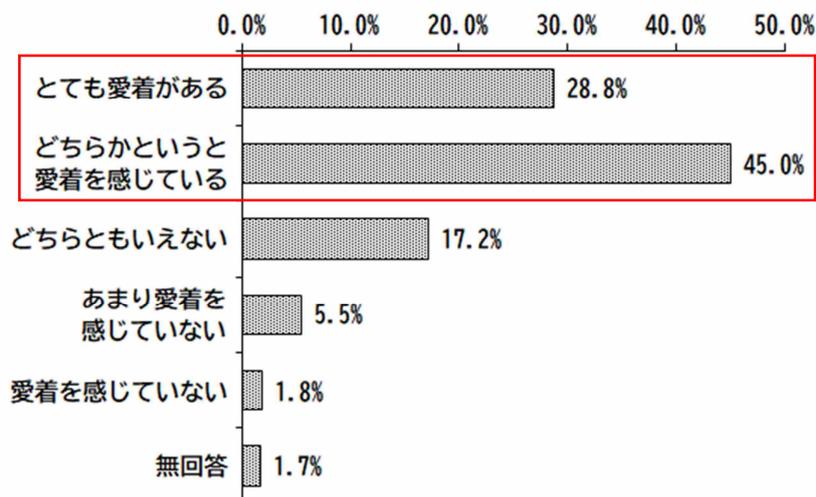
- ・ 「保険・医療」については、「満足」・「やや満足」がそれぞれ15.6%、34.8%であり、全項目の中で一番満足している住民が多い結果となっています。
- ・ 「農業」、「上水道」、「子育て支援」及び「高齢者福祉」については、「満足」・「やや満足」の合計がそれぞれ30%を超えており、他の項目と比べて満足している住民が多いと考えられます。





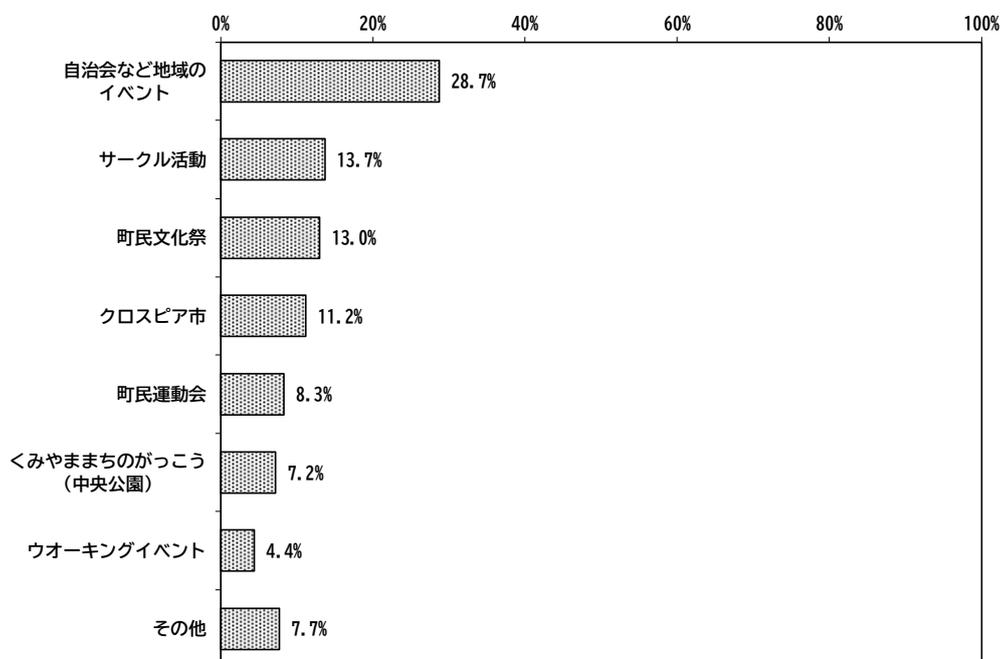
② まちへの愛着(問6)

- ・ 「とても愛着がある」「どちらかというとな愛着を感じている」の回答が合計73.8%となりました。



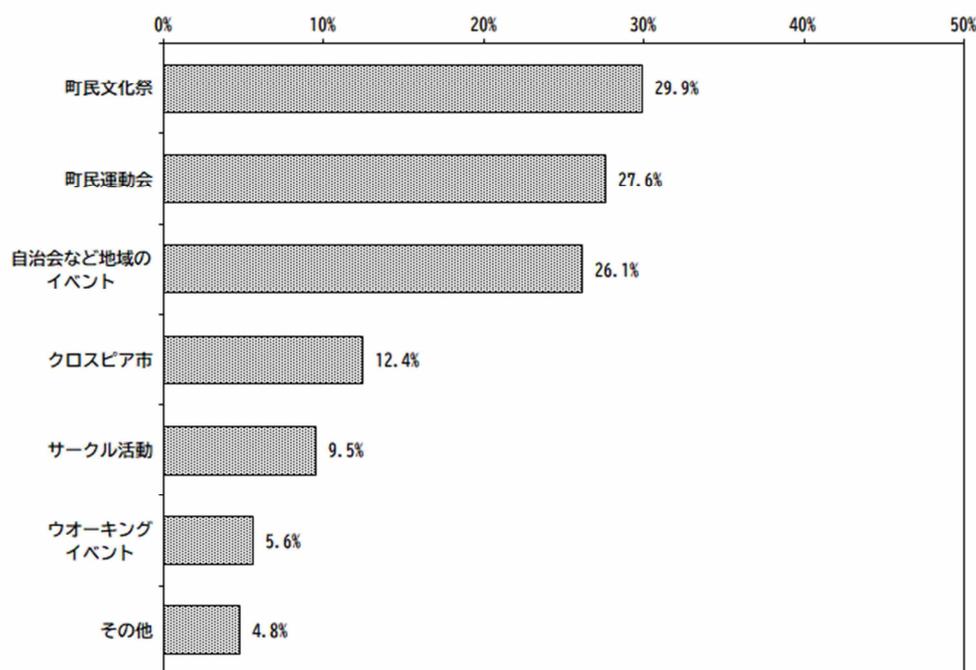
③ 新型コロナまん延以降のイベントの参加状況(問 14)

- ・ 「自治会などの地域イベント」の回答が28.7%と最も多く、次いで「サークル活動」が13.7%、「町民文化祭」が13.0%となりました。
- ・ 年齢層で比較すると、年齢層の高い方は「自治会など地域のイベント」に参加したことがあるが高い傾向にあり、40歳代までの方は「クロスピア市」や「くみやままちのがっこう（中央公園）」などの参加が高い傾向にありました。



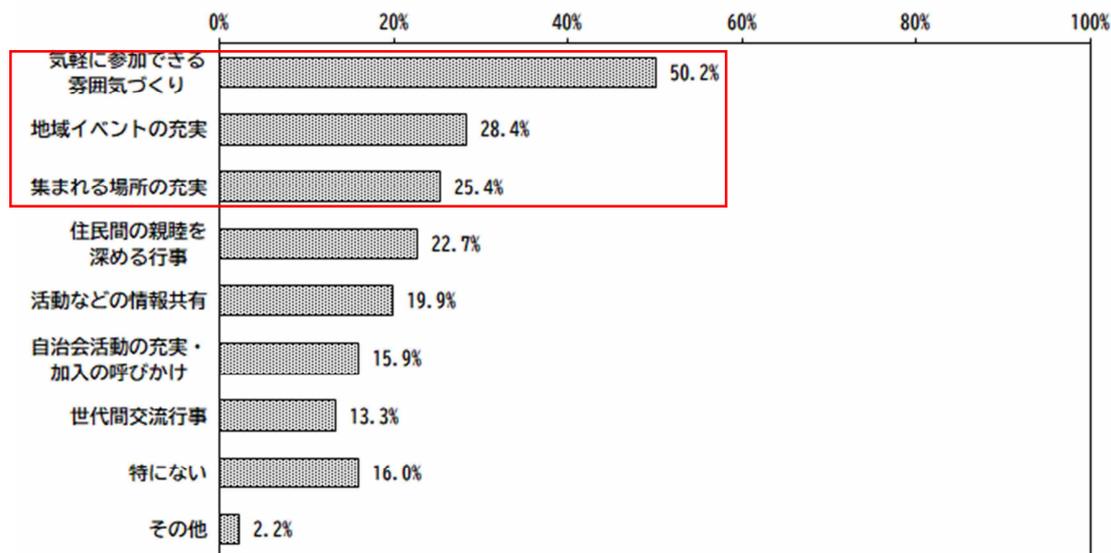
④ 新型コロナまん延以降のイベントの参加状況(問 15)

- ・ 「新型コロナまん延以降、参加しなくなったイベントとして「町民文化祭」」の回答が29.9%と最も多く、次いで「町民運動会」が27.6%、「自治会など地域のイベント」が26.1%となりました。



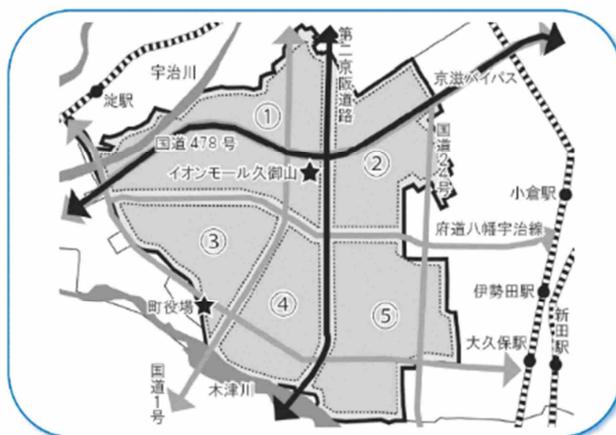
⑤ 地域の交流や地域の絆を深めるために必要な取組(問 17)

- ・ 「気軽に参加できる雰囲気づくり」の回答が50.2%と最も多く、次いで「地域イベントの充実」が28.4%、「集まれる場所の充実」が25.4%となりました。



2 経営者アンケート・はたらく人アンケート

① 勤務先の事業所の場所(経営者：問5、はたらく人：問6)



- ・ 「①(八幡宇治線北、第二京阪西)」、「④(八幡宇治線南、国道1号・第二京阪の間)」、「⑤(八幡宇治線南、第二京阪東)」がそれぞれの上位3位までにあがっています。

No.	選択肢	経営者 割合 (%)	はたらく人 割合 (%)
1	① (八幡宇治線北、第二京阪西)	25.0	27.3
2	② (八幡宇治線北、第二京阪東)	7.3	5.3
3	③ (八幡宇治線南、国道1号西)	11.5	9.9
4	④ (八幡宇治線南、国道1号・第二京阪の間)	28.1	27.5
5	⑤ (八幡宇治線南、第二京阪東)	25.0	29.6
	無回答	3.1	0.4

② 主に通勤で使用する交通手段(経営者：問6、はたらく人：問7)

- ・ 経営者・はたらく人ともに、通勤手段では「自家用車」の回答が最も多い結果となりました。

No.	選択肢	経営者 割合 (%)	はたらく人 割合 (%)
1	自家用車	83.3	66.1
2	路線バス	1.0	7.7
3	バイク	3.1	10.0
4	自転車	1.0	8.9
5	企業の送迎バス	0.0	0.3
6	その他	9.4	4.7
	無回答	2.1	2.3

③ 外国人労働者の雇用の有無(経営者アンケートのみ)(問9)

- ・ 経営者に対して実施したところ、「雇用していない」の回答が84.4%となり、最も多く、ほとんどの回答者が外国人労働者を「雇用していない」という結果となりました。

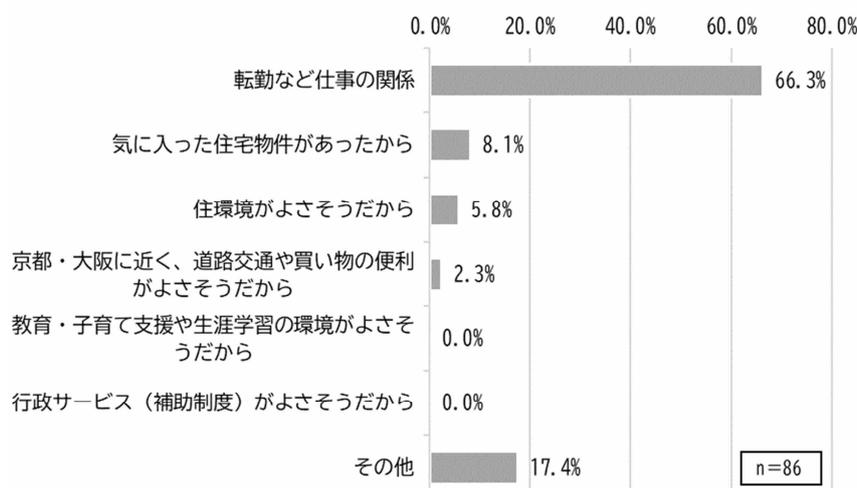
No.	選択肢	回答数	割合 (%)
1	雇用している	13	13.5
2	雇用していない	81	84.4
	無回答	2	2.1

3 窓口アンケート

① 転入・転出理由

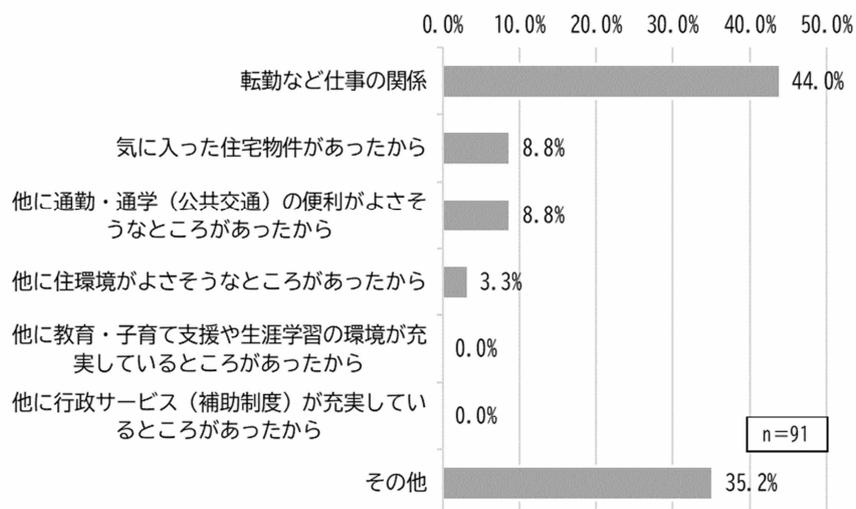
【転入】(問4)

- ・ 「転勤など仕事の関係」の回答が66.3%となり、最も多く、次いで、「その他」が17.4%となりました。その他の理由として、「子どもの進学」や「親族が久御山町に住んでいる」などがありました。



【転出】（問5）

- ・ 「転勤など仕事の関係」の回答が44.0%となり、最も多く、次いで、「その他」が35.2%となりました。その他の理由として、「結婚」や「帰国」などがありました。



② 居住期間（転出者のみ）（問3）

- ・ 「20年以上」の回答が28.3%となり、最も多くありました。

